

# 北区日中会報

発行日  
平成31年1月1日  
第47号

編集 北区日中友好協会広報  
発行 北区日中友好協会  
東京都北区王子2-14-17  
丸山事務所内 TEL03-3911-2381

## 平成31年 迎春



花川與惣太会長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、お健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。昨年の日中関係は一昨年を引き続き、関係改善に向けて様々な努力が続けられました。5月には東京で李克強首相との首脳会談、10月には北京で習近平国家主席との会談が行われ、新時代に向けて連携をさらに強化していく方針で一致しました。一方、経済面、文化面での交流も進んでおり、昨年10月現在で日本に訪れる中国人は一昨年比15.1%の増加で推移しております。

さて、昨年 of 北区日中友好協会は充実した活動を続けてまいりました。定例の行事では、2月の春節餃子パーティーには162名の参加者を得て、王子小学校内のランチルームで盛大に開催しました。4月には東京都日中友好協会との共催による日中友好スポーツ交流を57名の参加を得て滝野川体育館にて実施し、5月には総会と懇親会を開催しました。また10月には区民まつりに参加しました。また、春、秋それぞれ中国語講座を開催しました。

本年も昨年以上の充実した活動を実施いたします。新春の春節餃子パーティー、春のミニコンサート、秋のバスハイク等の定例行事のほか、中国語講座等も実施してまいります。また、友好協力関係にある北京市西城区からの訪問団の歓迎、あるいは中国留学生、就学生、帰国者の支援等の協会としての公共性を盛り込む行事、また北区の友好交流事業にも積極的に協力してまいります。

現在の世界の情勢は極度の緊張状態にあります。このような状況下では日中両国間の相互理解と連携はますます重要になりつつあります。私ども北区日中友好協会は両国の人々の相互理解を深める草の根交流活動を進めてまいりましたが、今後も着実に成果が上がるよう努力を継続いたします。皆様のご理解とご協力を切に願う次第でございます。新年が皆様にとって幸多き年であることをお祈り申し上げます。

## 日中首脳会談 関係発展に向け「新たな3原則」を確認

昨年の日中首脳会談についてご紹介いたします(NHK NEWS WEB 10.26. より)

日本の総理大臣として7年ぶりに中国を公式訪問した安倍総理大臣は、人民大会堂で李克強首相との首脳会談に臨みました。

冒頭、李首相は「両国が歴史を鑑として、未来志向の精神で、この好機を捉え、前に向かって長期的かつ安定的なウィンウィンの関係を実現し、経済や貿易の協力を新たな段階に押し上げることを期待したい」と述べました。

これに対し、安倍総理大臣は「競争から協調へ、日中関係を新たな時代へと押し上げていきたい。日中は隣国どうし、パートナーであり、お互いに脅威とならない、この原則を再確認したい。また、自由で公正な貿易関係を発展、進化させていきたい」などと述べ、関係発展に向けた新たな3つの原則を確認しました。

そのうえで、安倍総理大臣は、習近平国家主席の日本訪問を実現して首脳間の相互往来を継続し、日中関係を発展させていきたいという考えを伝えました。

そして、両首脳は、東シナ海を「平和、協力、友好

の海」とする決意を改めて確認し、2008年に共同開発することで合意した東シナ海のガス田開発をめぐり、中断している条約の締結交渉の早期再開を目指して意思疎通を強化することで一致しました。

さらに、運用が始まった、海上や空での偶発的な衝突を避けるための連絡方法などを取り決めた「海空連絡メカニズム」に基づき、最初の年次会合を年内に開催することや、ホットラインの早期開設などでも一致しました。

また、両国の共通目標である朝鮮半島の非核化に向けて、北朝鮮に対する国連安保理決議を完全に履行していくことの重要性を確認したほか、安倍総理大臣から拉致問題に関する日本の立場を改めて説明し、李首相は支持を表明しました。

一方、両首脳は、両国の外交当局が意思疎通の強化に向けて、毎年、年末までに翌年の計画を作成する覚書に署名し、来年の計画を公表したことを歓迎しました。

加えて、中国に対するODA＝政府開発援助につ

いて、今年度の新規案件を最後に終了する一方、開発分野や気候変動など地球規模の課題での協力に向けた調整を関係部局間で進めることで合意しました。

また、経済分野では、国際標準に合致し、第三国の利益となる企業間協力の推進で一致し、技術革新に向けた支援や知的財産分野での協力の在り方などを議論する新たな対話の立ち上げを確認し、政府間で覚書への署名が行われたことを歓迎しました。

さらに、李首相は、原発事故を受けて行っている日本からの農産物などの輸入規制について「科学的な評価に基づき緩和することを積極的に考える」と表明しました。

加えて、RCEP＝東アジア地域包括的経済連携の早期妥結や、日中韓3か国のFTA＝自由貿易協定の交渉加速化を目指すことでも一致したほか、パンダの貸与に向けて政府間の覚書を作成するための交渉を進めることでも合意しました。

## 区民祭りが開催される 国際ふれあい広場に協力

10月6、7日の両日、飛鳥山公園で開催された区民まつりの国際ふれあい広場に役員、会員を本部ボランティアとして派遣しました。国際ふれあい広場には中国、韓国、フィリピン、フランス等の11カ国の団体が出店しました。国際ふれあい広場も例年と同様、多くのお客様が訪れ、世界の様々な味を楽しんでい



ました。また、初日は王子総合高校の生徒さんたちのボランティアがバンブーダンスで活躍、訪れたお子さんを楽しませていました。同日夜のステージは例年以上の高いパフォーマンスが演じられ、多くの方々楽しんでいました。翌7日は夜間の台風の影響で強風が予想され、各地

のイベントが中止される中、幸い両日とも北区の区民まつりは無事開催されました。お客様の出会いも若干心配されましたが、朝方より天気が回復、例年以上の賑わいが見られました。この2日目は順天中高生の生徒さんたちのボランティアが大活躍、子どもたちに人気のバンブーダ

ンス指導に大奮闘していました。昼前からは各テントには行列が作られ、それぞれの国の味を楽しんでいました。お昼を過ぎたころには次々と完売の張り札が出され、早仕舞いのテントが続々と出てきました。

## 北京市西城区人民政府茶文化友好交流団が来日 北区で交流

北京市西城区より茶文化友好交流団が来日しました。一行は12月10日に来日、中野区、北区、静岡市、渋谷区を訪問、茶芸、茶道の交流が行われました。北区には12月12日に訪れ、北とぴあで交流、午前中は日本の茶道を紹介、午後は中国の茶芸が紹介されました。茶芸も礼が非常に大切にされるとのことで、また、中国茶はその種類が非常に多く、茶葉によって淹れ方が異なるため、最もおいしく茶を淹れる方法も大切にされ、中国茶芸は発展したとのことです。茶芸の紹介では2種類の茶葉が紹介されました。いずれも苦みが少なく、とてもおいしく飲むことができました。午後の2時間の交流の後、参加者全員で写真を撮り、お開きとなりました。